

第 165 号 内容紹介

1 , 鈴木頌 「『非戦』を国際連帯運動の標語に」

日本 AALA ではこれまで非核・非同盟を旗印としてきたが、これに非戦を加えて「非核・非戦・非同盟の世界を」にするよう提案する。

2 , 「非戦」論シリーズ ~

フィデル・カストロ、森嶋通夫、シャラジェンコ（ウクライナ平和運動）、不破哲三各氏の論を紹介

3、ベネズエラ選挙の投票動向の分析

1998 年から 2024 年の投票動向を社会科学の視点から検証する

4 , B・ガービー「ベネズエラでなく自国の民主主義こそ」

ベネズエラ政府が完璧で選挙が公正だと断言するわけではないが、ベネズエラの政治問題は、米国ではなくベネズエラ人によって解決されるべきだ。

5 , D・オルテガ「サンディニスタ人民革命 45 周年の記念演説」

7 月 19 日、マナグアでの記念行事で米 NATO によるウクライナ、イスラエル軍事支援を糾弾、「小さな国の大きな夢」の実現にむかって平和の努力をよびかけた。

6 , 3 大陸誌「北東アジアに激震を走らせる新冷戦」

米国主導の対中新冷戦で不安定化する北東アジア。打開する平和運動の課題は何か。韓国研究機関との共同論文の続編。

その他の記事は「AALA ニュース編集日記」で参照できます（[aala_news](https://aala-news.com) の編

[集日記 \(livedoor.jp\)](https://livedoor.jp))

